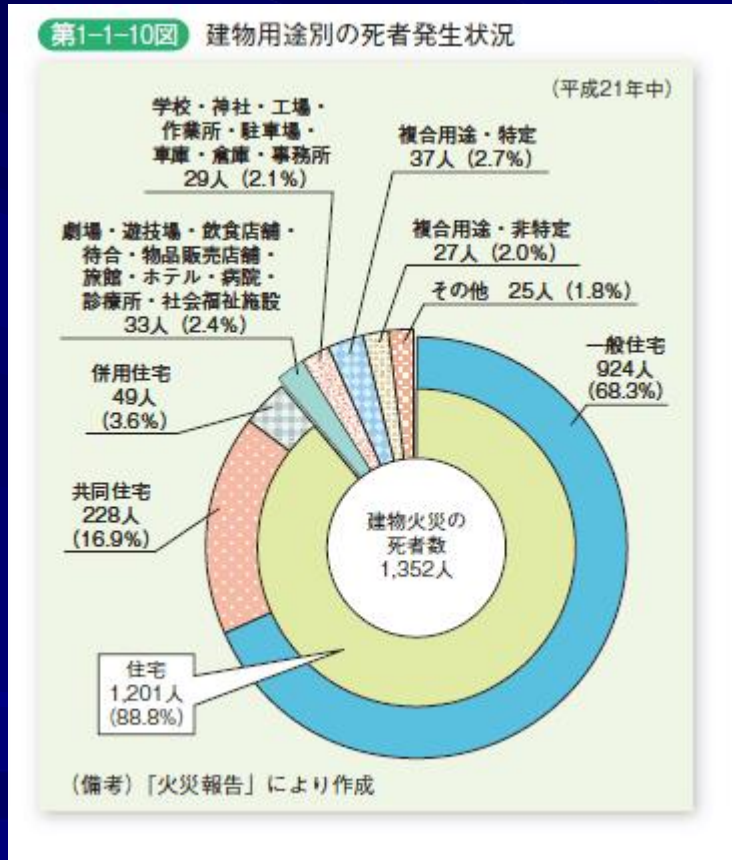


# 共同住宅のリニューアル

株式会社エレベータ研究所

# 何故共同住宅か？

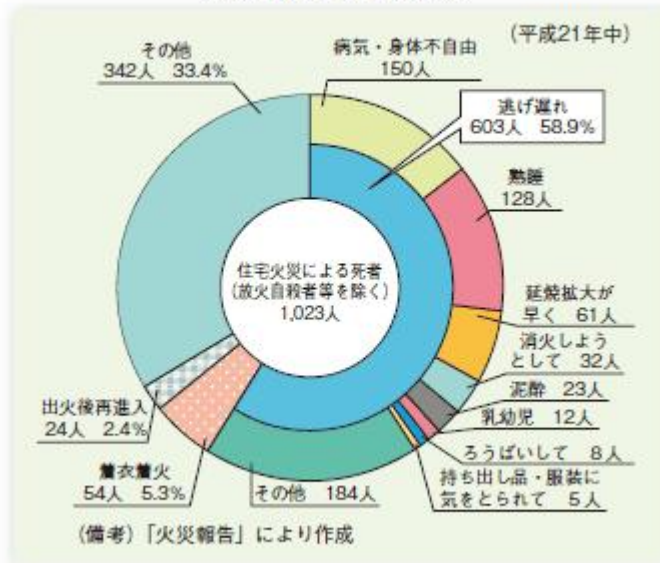
- 2010年版消防白書によれば、火災による死者数は共同住宅で多い



# 何故EVACUATORが必要か？

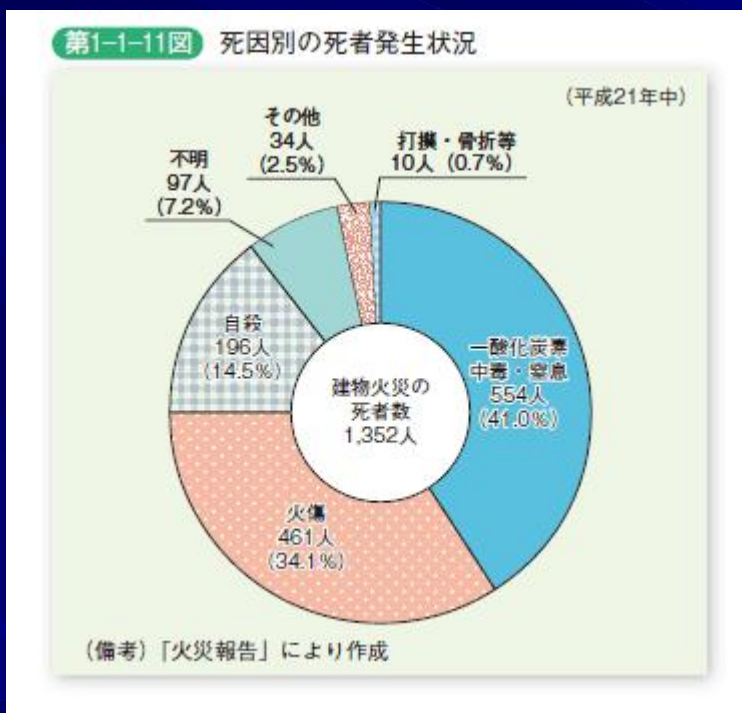
- 2010年版消防白書によると死亡原因として逃げ遅れが多く、EVACUATORによる迅速な避難の必要性がある。

第1-1-17図 住宅火災の死に至った経過別死者発生状況  
(放火自殺者等を除く。)



# 何故迅速な避難が必要か？

- 2010年版消防白書によれば最大の死因は一酸化炭素中毒であり、一刻も早く屋外へ逃げる必要がある。



# EVACUATORへのリニューアル

1. 各階乗り場に一時避難場所の設置
2. 火災時避難運転の組み込み
3. バッテリー駆動方式に更新
4. 運転操作方式をポストセレコレに更新
5. 群管理方式をNUCLEUS方式に更新

# エレベータの配置の制約

- 現状、エレベータは避難経路として認められない
  - 居住者が避難時にエレベータと階段の両方を選択可能にするため、
    - (1) 通路の一端にエレベータがあり、他端に階段がある
    - (2) 通路の中央に階段があり、その先にエレベータがある。
    - (3) 通路の中央にエレベータがあり、両端に階段がある。など、一時避難場所の設置によって、階段への避難経路が遮られることがない(注)建物でリニューアルを実施可能。
- (注)火災時には一対の防火シャッターが下降してエレベータの乗り場に一時避難場所を形成し、通路を遮断する。  
ただし、(1)～(3)の場合は、避難経路が遮られることがない。

# リニューアルの効果

1. 火災時にエレベータを利用して迅速に避難できる(階段で避難困難な車椅子利用者や高齢者に限らず)。
2. 輸送性能が向上する。